

受験番号	
------	--

令和7年度大阪府公立学校教員採用選考テスト

支援学校 自立活動 解答用紙 (1枚のうち1)

4	得点	
---	----	--

(1)	①	発作中は呼吸がしにくくなるため、衣服を緩めて呼吸がしやすい体位をとらせる。また、顔を横に向けるなどして、痰がのどにつまらないようにする。口の中に食べ物が入っている場合は窒息することがあるため、口の中のものを出す。これらの対応と併せて、発作時の状態等の記録、時間の計測を行う。						/		
	②	ア	5	/	イ	2	/			
(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・リラックスさせたうえで、体を丸くさせ(屈曲させ)そり返りを和らげる。 ・顎を前に出して喉を広げることで呼吸しやすい姿勢を取らせ、痰がひっかかっている時には、吸入する。 							/		
	<ul style="list-style-type: none"> ・主治医の指示書に基づく医療的ケアの実施 ・認定特定行為業務従事者である教員への指導・助言 ・主治医との連携(主治医訪問等) 							/		
(4)	杖	携帯性に優れ、段差乗り越えや階段昇降することができ、車椅子で対応困難な狭い場所で使用することもできる。不安定な支持性しか与えられないため、ごく軽介助にて歩行できる運動能力が必要となる。						/		
	歩行器	安定した支持性を与えることができるが、使用は段差のない場面に限られる。独歩を獲得するまでの練習として使用することができる。						/		
(5)	①	楽しみ	/	②	興味や関心	/	③	活発	/	
	④	語彙	/	⑤	文字	/	⑥	便利さ	/	